

インフラ整備70年 講演会（第9回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

「名神高速道路の建設 ー日本初の高速道路の建設への挑戦ー」

講演者：大塚 勝美（元日本道路公団理事）
渡辺 孝雄（元日本道路公団理事）
田村 幸久（元日本道路公団北海道支社長）
芝村 善治（西日本高速道路（株）取締役常務執行役員経営企画本部長）
高瀬 健三（鹿島建設（株）土木管理本部プロジェクト推進部長）
荒井 明夫（（株）NIPPO取締役常務執行役員技術本部長）
司会者：鈴木 辰夫（鉄建建設 常務執行役員）

講演プログラム

1. 計画の経緯
2. 設計思想
3. 建設
4. 維持管理
5. 整備効果とその後の展開
6. 建設の意義

写真提供：（NEXCO西日本）

2019年**5月27日**（月） 講演会：17：30～19：30（受付開始 17：00～）
交流会：19：30～20：30

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎 3階 S 305教室

定員：300名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして設定されております。

*講演終了後、軽食による交流会を予定しています。

*本講演会は、どなたでも申し込み可能です。会費及び申込み方法は裏面をご覧ください。

名神高速道路は日本最初の高速道路として、1957年（昭和32）着工、1963年に栗東IC～尼崎IC間71.7kmが開通したのち、1965年7月に小牧IC～西宮IC間189.5 kmが全線開通した。

昭和30年代、日本経済が飛躍的に成長を遂げた時期に、経済成長に欠かせない自動車輸送の根幹として、多くの技術者が新たな技術に挑戦し、以降の高速道路建設の基礎を築いた画期的な道路事業である。

本公演では、世界銀行との借款条件の交渉、用地取得における団体交渉方式の採用、クロソイド曲線の採用や透視図を使った設計、品質管理・施工管理手法の確立等の技術的諸問題の解決など、当時、経験のなかった高速道路の設計・施工について、大塚勝美（元日本道路公団理事）、渡辺孝雄（元日本道路公団理事）、田村幸久（元日本道路公団北海道支社長）、芝村善治（西日本高速道路（株））、高瀬健三（鹿島建設（株））、荒井明夫（（株）NIPPO）にご講演いただきます。

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会

後援：（公社）土木学会

「名神高速道路の建設－日本初の高速道路の建設への挑戦」

《講演者略歴》

大塚 勝美 (元日本道路公団理事)

渡辺 孝雄 (元日本道路公団理事)

田村 幸久 (元日本道路公団北海道支社長)

芝村 善治 (西日本高速道路(株)取締役常務執行役員経営企画本部長)

高瀬 健三 (鹿島建設(株)土木管理本部プロジェクト推進部長)

荒井 明夫 ((株)NIPPO取締役常務執行役員技術本部長)

会 費

- (学生の方) ● 講演会 : 無料
● 講演会 + 交流会参加の場合 : 2,000円
(一般の方) ● 講演会のみ参加の場合 : 1,500円
● 講演会 + 交流会参加の場合 : 3,500円 (講演会1,500円 + 交流会2,000円)

* 講演会及び交流会会費は、当日、会場受付にて直接お支払いください。

申し込み方法

- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより“インフラ整備70年”バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/>

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 参加をキャンセルされる場合は、下記問い合わせ先にメールにてご連絡をお願いします。
- ご提供いただいた個人情報本講演会のみ使用し、第三者には提供しません。
- 当日は、講演内容の記録として写真撮影や録画を行います。その写真を建設コンサルタンツ協会ホームページ、広報誌等に掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

問合せ先

TEL: 03-3239-7994 / E-mail: infra70@jcca.or.jp (担当: 酒井、三浦、大串)

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであると見て過言ではありません。それらの事業の記録はさまざまな形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとししました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定>

第10講演会 2019年6月13日(木) 17:30~19:30 交流会: 19:30~20:30

「小田急連続立体交差事業」(仮)

講演者: 大須賀 頼彦、古川 公毅 他

場 所: 政策研究大学院大学 想海樓ホール